

運用負荷軽減につながる 運用自動化プラットフォーム S-Cred+

SCSK株式会社

基盤サービス事業本部 クラウド基盤サービス部 第四課

2021年11月16日

クラウド上にシステムを載せることに対する、よくある漠然とした不安・イメージ



クラウドでの運用って どうなるの？

- オンプレとの違いは？
- 人員は限られている・・・

- クラウド環境も運用に必要なことはオンプレと変わらない
- 自動化やマネージメントサービスの活用で省力化や作業の迅速化が実現可能

セキュリティって 大丈夫？

- クラウドならではの注意点は？
- 不正侵入や情報漏洩が心配

- アカウントの監査・セキュリティに注意
- 従来からのセキュリティ対策とクラウドサービスが提供するセキュリティ機能を組み合わせることで高いセキュリティを実現可能

クラウドERP「ProActive C4」は、SCSKのサービスプラットフォーム「S-Cred+プラットフォーム」を活用することで、AWS上にセキュアでマネージドなERPサービスを実現しています。



USiZEパブリッククラウド運用サービス(S-Cred+)

概要

クラウドの迅速性を活かす為セルフサービスを基本としつつ、以下の特長を組み込むことでクラウド環境のガバナンス/セキュリティの確保とITシステムの継続的改善の両立をコンセプトとしています。

特長1

弾力性(Elastic)

中心となるコンポーネントはAPIをインタフェースとして提供。

お客様ご利用中ツールとの連携性を確保し、弾力性のあるマネージドサービスを提供。

特長2

自動化(Automation)

サービスリクエスト対応、プロセスやサーバ再起動などの障害一次対応、電話・メールでの通知を自動化。

コスト削減やアジリティ・品質向上に寄与。

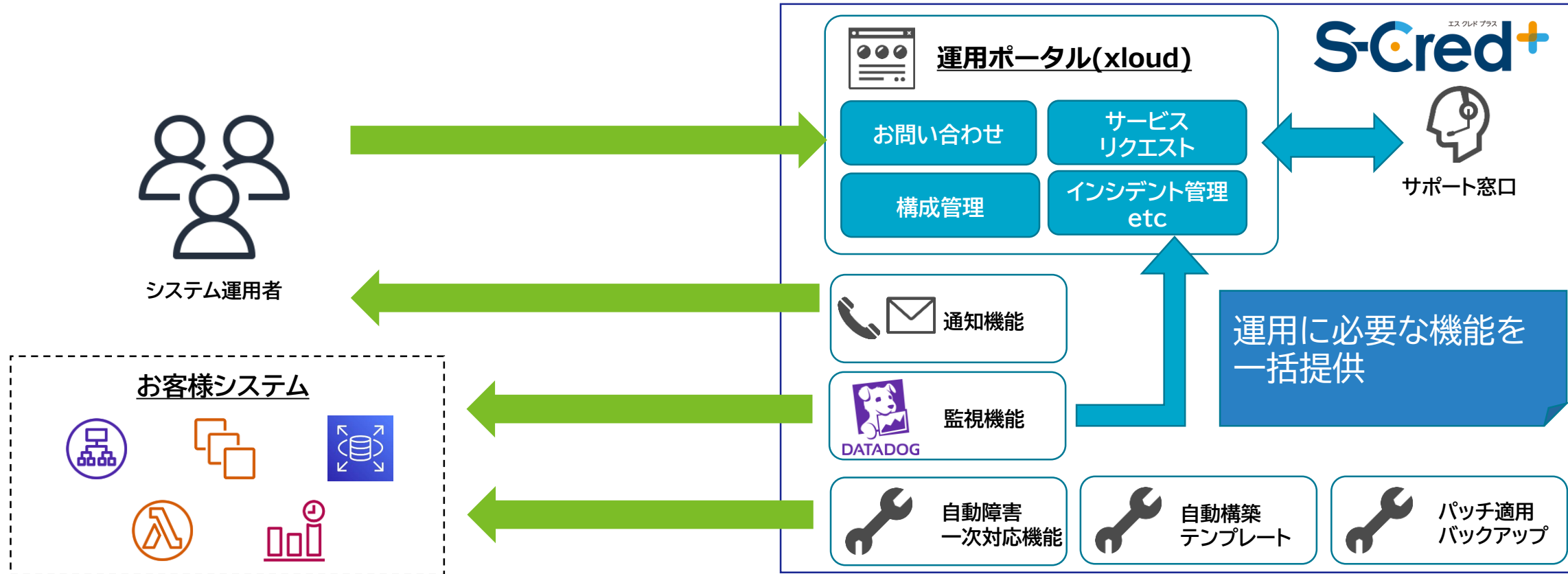
特長3

セキュリティ(Security)

トレンドマイクロとAWSのサービスを組み合わせ、セキュリティインシデントの初動対応を自動化。

セキュリティ上致命的な変更が検知された場合は、監査機能によって自動修復することで企業のガバナンスを強力にサポート。

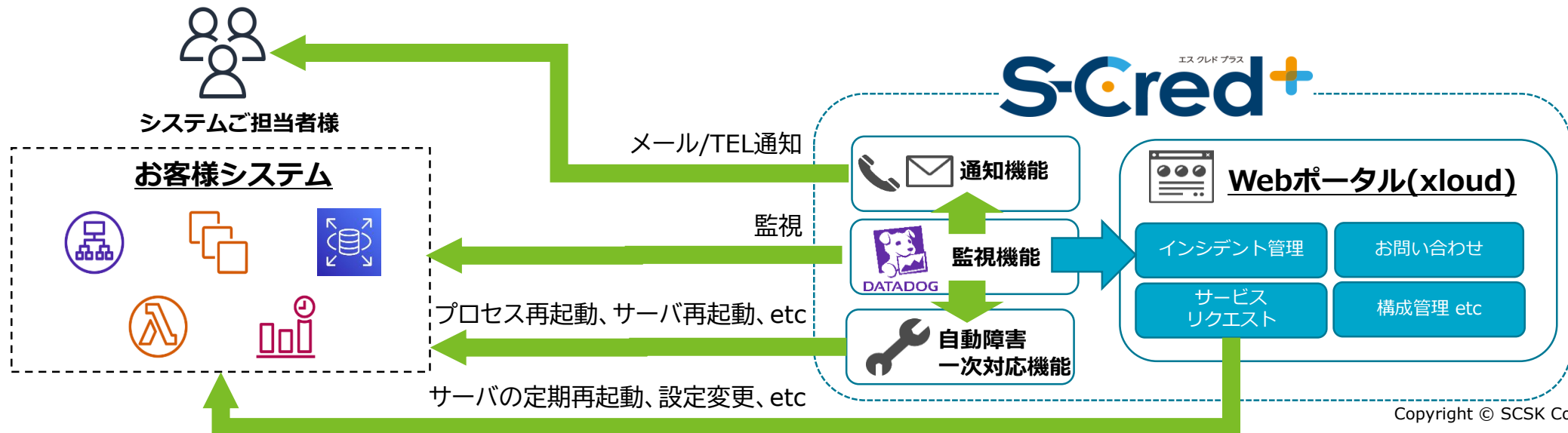
- 運用サービスのインタフェースとして、ITSM機能・サービスデスク機能を有する運用ポータルを提供
- 監視機能にDatadogを採用、状態監視に加えデータ傾向を分析した予測監視、自動一次対応などが可能
- AWSのサービスを活用した、監査やパッチ適用、バックアップ等の運用に必要な機能を設定済み状態で提供
- 自動構築テンプレートにより、お客様システムの迅速な環境構築を支援



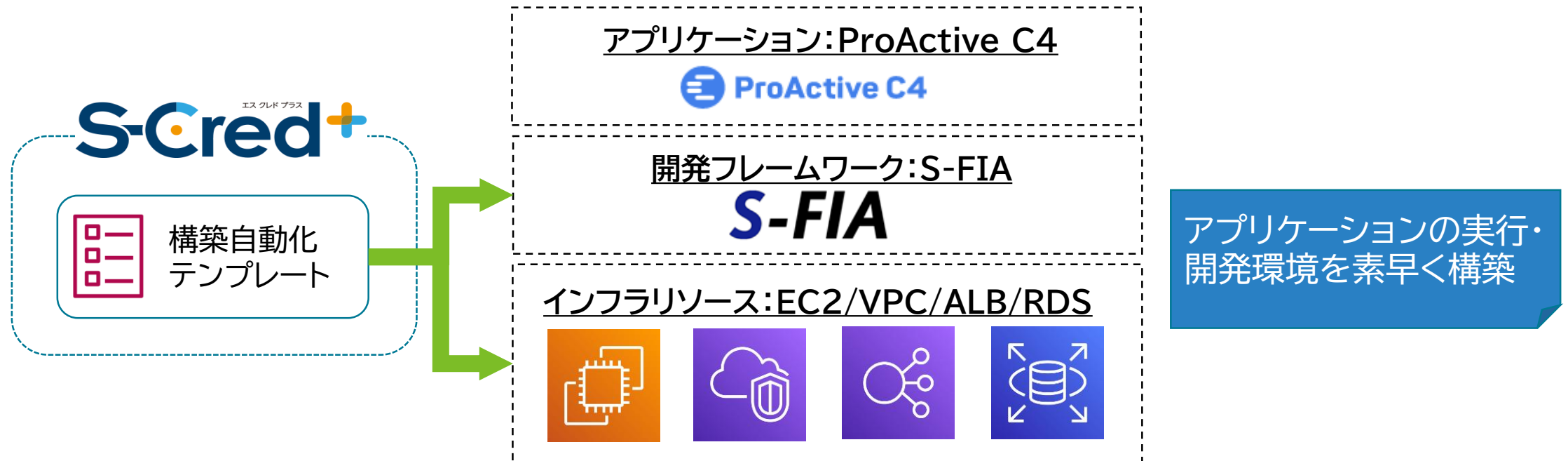
区分		機能		備考	
基本 (必須)	初期作業	テナント開設		初期テナント環境構築(IAM作成、VPC、監視環境、セキュリティ管理環境等構築)	
	基本運用	サービスデスク	オプションサービスの追加変更削除		固定額の例月費用。 契約ごとに必要。
			各種お問い合わせ		
			インシデント管理		
			構成管理		
		ポータル (xcloud)	サービスリクエスト		
			課金情報サイト		
			構成監査、及び設定自動修正		
			バックアップ(リストアは個社対応)		
	OSパッチ適用機能提供				
監視/通知/自動障害1次対応		従量の例月費用。 EC2インスタンス台数や利用容量で課金。			
オプション (選択可)	インフラ自動構築支援	クラウドリファレンスキット for AWS提供		選択可能な固定額の例月費用。	
		検証済みスタック及びサービスカタログ (CloudFormation/AWS Service Catalog)			
		検証済みパイプライン (CodePipeline/CodeDeploy/CodeCommit)			
		クラウドアドバイザリーコンサルティング			
	セキュリティ運用支援	ウイルス検知時のインスタンスの自動隔離		選択可能な固定額の例月費用。	
		不正アクセス検知時の自動ブロック			
		GuardDutyによる不正操作への対応			

USiZEパブリッククラウド運用サービス(S-Cred+) 運用を支援する自動化機能

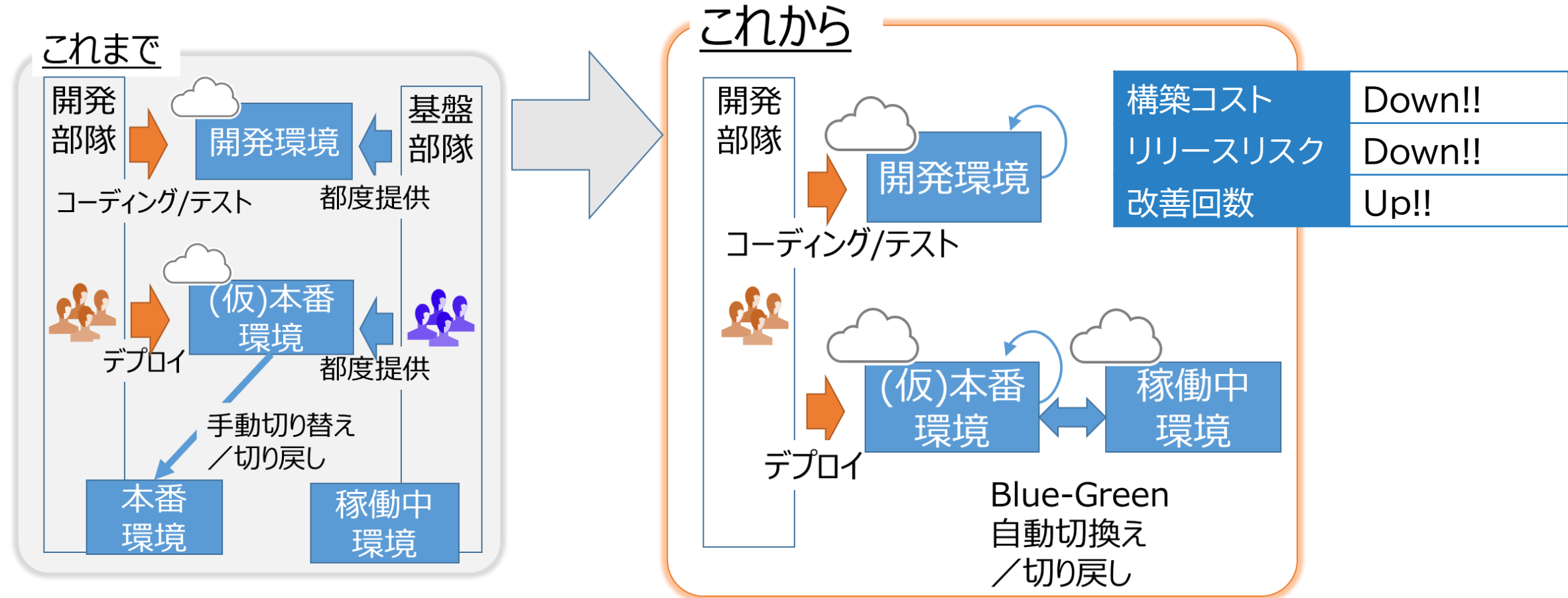
- サービスリクエストの自動化
S-Cred+では、監視設定をはじめ、13種類のサービスリクエストは自動で処理される
これにより、サービスリクエストにかかるコスト低減、作業品質の一定化、提供速度向上が実現
- 障害一次対応自動化
アラート発生時にあらかじめ定義したメールや電話通知を行うだけでなく、復旧処理を自動的に実施することが可能
これにより、万一の障害発生時の迅速な障害復旧と復旧作業にかかる運用負荷の低減が可能



- 複数の自動構築用テンプレートを提供、ユーザーセルフで環境構築を迅速に行うことが可能
- スピーディーに開発のための環境が整うため、システム開発までの時間を大幅に削減
- コンテナ環境とCI/CDによるDevOpsを実施するためのテンプレートも用意されており、プロジェクトの開発方式や開発対象に合わせた環境を構築可能

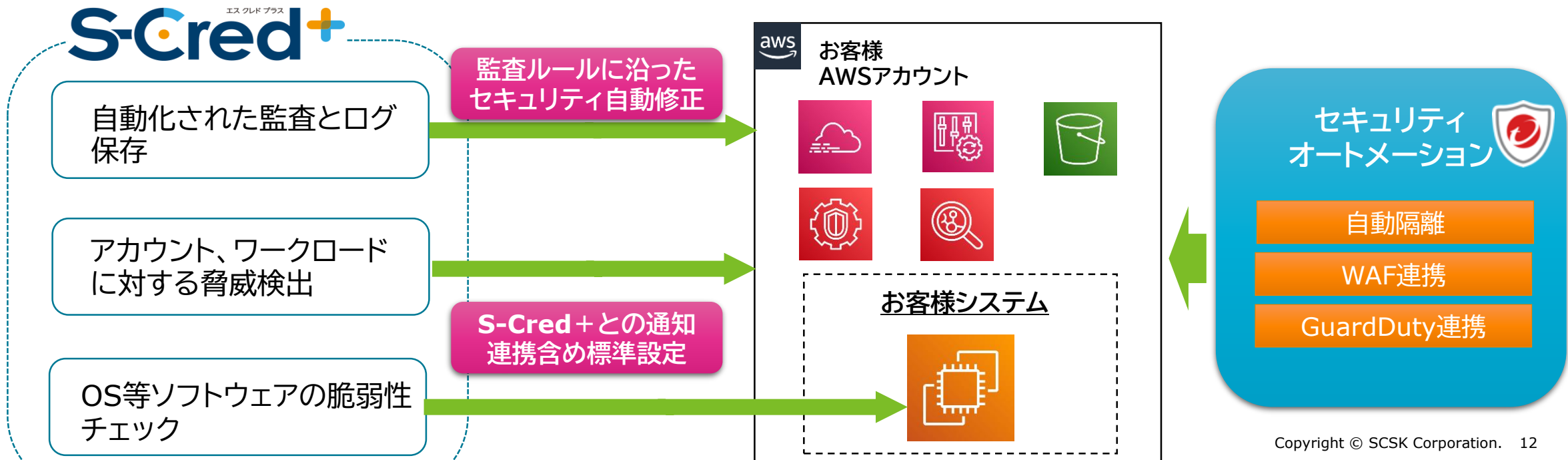


- 構築自動化テンプレートを利用することで、機能改修に伴うリリース作業負荷の低減も可能



USiZEパブリッククラウド運用サービス(S-Cred+) 顧客環境を守るセキュリティ機能

- AWSアカウントやワークロードに対する脅威を継続モニタリングし、定期的にOS設定などに脆弱性がなければ自動的にチェックすることでお客様環境を保護
- お客様環境における推奨設定ルールを定義し、遵守状況を自動監査し監査ログを安全に保管
ルール違反時には設定自動修正を行いセキュリティホールとなる設定に対し迅速に対応
- オプションとしてウイルス対策ソフトウェア(TrendMicro社 Cloud One Workload Security)と連携したより強固なセキュリティオートメーション機能も利用可能



USiZEパブリッククラウド運用サービス(S-Cred+) まとめ

SCSKの標準サービスプラットフォーム「S-Cred+プラットフォーム」を利用することで、

1. 自動構築テンプレートと自動化された運用機能で**運用コストを低減しつつサービス提供を迅速化**し、
2. ベストプラクティスに沿った自動化された**セキュリティ機能で安心・安全なシステム環境**を実現



SCSK

夢ある未来を、共に創る。